

ロームのマテリアリティ

ロームは、企業目的に基づき文化の進歩向上につながる技術の進化に貢献し、また高品質な製品の安定供給を実現することを経営の重要課題として捉えています。また、社会と企業両方の持続可能な発展を追求するため、ステークホルダーの皆さまの関心や、事業への影響を考慮し、「サステナビリティ重点課題」を特定しました。これらを併せて、「マテリアリティ=経営の重要課題」として掲げ、事業を通じて社会価値と経済価値の創出に取り組むことで企業価値向上を目指しています。



サステナビリティ重点課題の特定 https://www.rohm.co.jp/sustainability/sustainability_issues

マテリアリティ	ロームが目指す創出価値	取り組み	2022年度の実績	主なKPI (中期経営計画)	SDGs	
技術	文化の進歩向上につながる技術の進化	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ・小型化に寄与する高付加価値新製品の開発 グローバルに戦える製品を作る開発体制の強化:PMEの配置 受動部品からパワーデバイス、LSIに至る総合力による顧客視点でのソリューション提案 	<ul style="list-style-type: none"> 売上高 5,078億円 新製品売上高比率 31.6% LSI戦略TOP10製品売上高比率 22% 海外系顧客売上高比率 43.1% SIC 売上高 270億円、シェア 8.6% 	<ul style="list-style-type: none"> 社会貢献の総量として売上高6,000億円以上を達成する(2025年度目標) 新製品(省エネ・小型化に寄与する)売上高比率の向上 LSI戦略TOP10製品売上高比率 32%(2025年度目標) 海外系顧客売上高比率 50%以上(2025年度目標) SIC 売上高 2,700億円以上、シェア30%以上を目指す(2027年度以降目標) 		
	高品質な製品の安定供給	<ul style="list-style-type: none"> 安定供給を実現するサプライチェーン 	<ul style="list-style-type: none"> IDMによる生産体制の強化 フレキシブルラインによる生産性向上 徹底した品質管理及び従業員への品質教育 	<ul style="list-style-type: none"> 品質向上に向けた設備投資金額 21億円 生産能力向上に向けた設備投資金額 807億円 フレキシブルラインによる量産開始・海外生産拠点に展開中 2022年度 顧客の品質満足度スコア 3.1%改善 	<ul style="list-style-type: none"> 成長投資5年間累積 6,000億円(2025年度目標) フレキシブルライン5年間で2倍(2025年度目標) 顧客の品質満足度スコア10%改善(2020年度比、2025年度目標) 	
環境	持続可能な技術の強化、革新的な製品の開発、供給	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ製品の開発、市場への供給による貢献 小型化製品の開発供給による貢献 機能安全を追求した製品の開発供給による貢献 	<ul style="list-style-type: none"> 売上高 5,078億円 	<ul style="list-style-type: none"> 社会貢献の総量として売上高6,000億円以上を達成する(2025年度目標) 		
	気候変動への対応	<ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガス(GHG)排出量削減による環境負荷低減 	<ul style="list-style-type: none"> GHG排出量は2018年度実績より21.8%削減 GHG排出量原単位は2018年度実績より38.6%削減 再生可能エネルギー24%導入済 	<ul style="list-style-type: none"> GHG排出量を2018年度比50.5%削減する(2030年度目標) GHG排出量原単位を2018年度比45%削減する(2030年度目標) 導入比率100%を目指し、再生可能エネルギー化を推進する(2050年度目標) 		
	資源の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> 資源の有効活用による循環型社会の実現 	<ul style="list-style-type: none"> 水資源の削減 廃棄物量の削減 	<ul style="list-style-type: none"> 水の回収・再利用率は2019年度実績より1.2%向上 再生資源化率は国内海外連結で98.5% 	<ul style="list-style-type: none"> 水の回収・再利用を2019年度実績より5.5%向上する(2030年度目標) 国内海外連結で再生資源化率ゼロエミッションを目指す(2030年度目標) 	
社会	従業員エンゲージメントの強化	<ul style="list-style-type: none"> チャレンジを生み出す風土の醸成 働きがいの向上 従業員エンゲージメントスコアの改善 	<ul style="list-style-type: none"> マネジメント層の自己改革の促進を目的として360°フィードバック(上司・同僚・部下からのフィードバック)を実施 エンゲージメントサーベイの導入完了と共に、業界平均以上の結果を達成(グループ全体:91%) 	<ul style="list-style-type: none"> 世界で通用する次世代リーダー、プロフェッショナル人材を育成する制度を確立する(2025年度目標) ワールドワイドでのエンゲージメントサーベイを導入し、スコアを毎年改善、業界平均以上を目指す(2025年度目標) 		
	ダイバーシティ推進	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな人間性と知性を持つ多様な人材の育成 多様な働き方を実現するワークライフバランス 	<ul style="list-style-type: none"> 女性活躍の推進 グローバルレベルでの能力開発と人材配置 	<ul style="list-style-type: none"> ロームグループ全体の女性管理職比率 12.6% ジョブ型・年俸制・個別契約型の人事制度を一部導入 	<ul style="list-style-type: none"> 2025年度にロームグループ全体の女性管理職比率を15%にし、2030年度には20%を目指す 評価・報酬・昇進昇格・配置における戦略的データを蓄積する 	
	従業員の健康と安全の確保	<ul style="list-style-type: none"> 安全な職場の確保 健康経営の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ロームグループでの休業災害件数2件発生(1日以上)の休業) COVID-19構内クラスター発生件数 [0] 非運動習慣者率 11% 	<ul style="list-style-type: none"> ロームグループでの休業災害件数[0]を達成・維持する(2025年度目標) グループレベルでの未知なる感染症への防疫体制を確立・維持する(2025年度目標) ローム単体の運動習慣比率を全国平均値以上に向上・維持する(2025年度目標) 		
ガバナンス	コーポレートガバナンスの強化	<ul style="list-style-type: none"> 情報の不均衡の是正と実効性あるガバナンスで社会との信頼関係を築く 	<ul style="list-style-type: none"> 取締役会の多様性の確保 中長期的企業価値向上に向けた報酬制度の見直し 経営の実効性の担保 	<ul style="list-style-type: none"> 女性及び外国人役員比率23%達成(女性役員比率:15%、外国人役員比率:8%) 独立社外取締役の取締役会に占める割合54%達成 「業績連動型譲渡制限付株式報酬制度(PSRSU)」を導入完了 2023年3月実施の実効性評価において、結果の評価・分析に関して外部機関によるサポートを導入 	<ul style="list-style-type: none"> 女性または外国人役員比率を10%にする(2025年度目標) 独立社外取締役の人数を、過半数に引き上げる(2025年度目標) 中期経営計画(財務・非財務目標)に連動した報酬制度を導入(2025年度目標) 外部機関による評価を3年に1回実施する(2025年度目標) 	
	リスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> BCM体制の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 経営層も参加するBCM対策本部を中心とした地震対応BCM訓練をリモートワークツールも活用して実施し、災害時の対応の有効性について検証 火災・水災に特化したリモートリスクサーベイを国内・海外主要生産拠点にて実施し、火災・水災リスクへの対応状況を確認 	<ul style="list-style-type: none"> 継続的なリスクの洗い出しを通じてBCM体制の強化を図る 		
	持続可能なサプライチェーンマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> 安定供給を実現するサプライチェーン 	<ul style="list-style-type: none"> BCM体制の強化 グリーン調達推進 CSR調達活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 購買先活動総合評価実施済みのサプライヤーからの購入比率 95.4% Tier1サプライヤーの生産拠点調査率 31.0% 重要サプライヤーの有事対応における事前合意率 45.9% CSRセルフアセスメント結果B以上のサプライヤーからの購入比率 78.3% 	<ul style="list-style-type: none"> 購買先活動総合評価実施済みのサプライヤーからの購入比率 90%以上(2025年度目標) Tier1サプライヤーの生産拠点調査率 100%(2025年度目標) 重要サプライヤーの有事対応における事前合意率 100%(2025年度目標) CSRセルフアセスメント結果B以上のサプライヤーからの購入比率 90%以上(2025年度目標) 	
	製品安全・品質の強化	<ul style="list-style-type: none"> フロントローディングによる品質保証の体制構築と定着 顧客視点を取り入れた適正品質の実現 	<ul style="list-style-type: none"> 2022年度 顧客の品質満足度スコア 3.1%改善 「満足」「やや満足」の回答選択率 4.8%改善(理由:「車載対応」スコア向上によるもの。注力市場である自動車市場は対応強化の活動を進めた成果が大きい) 「不満足」「やや不満足」の回答選択率 1.0%改善 ※上記3項目は、いずれも2020年度比で数値を算出 	<ul style="list-style-type: none"> 顧客の品質満足度スコア 10%改善(2020年度比、2025年度目標) 		